

## 未来創造志塾 6期第7回 (H19.9.11)

### 「山田方谷・河井継之助」に学ぶ 名宰相の生き方

#### 未来創造志塾 建塾の志

##### 目的

二十一世紀、新しい時代の大転換期を生き抜くための理念や経営の哲学を共に学び合う  
経世済民の高い志を持ち、日本人としての使命を探究し、切磋琢磨し合い、未来に向けての価値を  
創造し、共感の和を広げる。

##### 誓い

###### 一、大局観察

何事も高所、大局から、情勢判断する習慣を心掛けます。

###### 一、使命探究

人間の持つ無限の可能性を信じ、自らの使命を探求し、価値の創造に努めます。

###### 一、自己挑戦

常に智恵と向上心と勇気を忘れず、共に励ましあい、立派な日本人となることを目指します。

### 6期テーマ 東洋思想・哲学を学び、トップ・幹部に必須な人間学を身に付ける！

賢者は歴史に学び、愚者は体験に学ぶ、先賢に学んで自分を練る

講義主題 一、東洋思想を学び、価値観を高め、人間力の向上を目指す。

二、経営の原理原則を学び、戦略の仕掛けと仕組みを学ぶ。

三、お互いに価値観を語り合うことにより、志・使命を学び合う場とする。

第6期は、東洋哲学・歴史から、現代の経営に置換え学びます。

第6期予定	日程	テーマ
第1回	3月19日(月)	「山本勘助と武田信玄」に学ぶ、トップと参謀の条件
第2回	4月16日(月)	「武田家の事業継承」に学ぶ、成功例と失敗例
第3回	5月21日(月)	「真田一族(三代)」に学ぶ、中小企業経営の生残り戦略
第4回	6月18日(月)	「織田信長の破壊と創造」根底は生まれつきの帝王学
第5回	7月9日(月)	「徳川吉宗の目指した改革」人材登用の極意
第6回	8月13日(月)	「小栗忠順」明治維新の未来を創った天才戦略家
第7回	9月11日(火)	「山田方谷と河合継之助」名宰相の生き方の違い
第8回	10月16日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」強いリーダーの条件
第9回	11月13日(火)	「クラウゼビッツ戦争論」戦略の達人になる！
第10回	12月11日(火)	「ランチェスター弱者の法則」中小企業の経営戦略の極意
第11回	1月15日(火)	「君主論」非常の論理、悪の人心掌握術
最終回	2月19日(火)	「曹操孫子注釈」戦略・戦術策定の仕組みを学ぶ！

以上で予定しておりますが、皆様の希望があれば、内容を変えます。

場所 : 地下鉄東陽町駅前 産業会館(第1会議室)

会費 : 3000円(会員以外 都度参加メンバー)

(6期会員メンバーは、2000円、録音CD送付)

宿泊研修は別途実費(1万円予定)

## 未来創造志塾 6期 7回 (H19年9月11日)

「山田方谷 河井継之助」に学ぶ

～ 名宰相の生き方 天才陽明学者の生き筋 ～

徳川幕府末期、備中松山藩の財政再建に取り組み、それまで 10 万両 (200 億円) あった借財をたった 8 年ですべて返済した財政家である。

それどころか 10 万両の蓄財まで果たし、その名は「名財政家」として日本国中に轟いた。やがて幕藩体制の崩壊とともに明治維新政府から財務大臣のポストを用意されるも、人材育成に命をかけるために固辞。そして歴史の表舞台から忽然と姿を消したのである。

参考著書 炎の陽明学 矢吹邦彦 明德出版社

### 朱子学と陽明学

唯物論	唯心論
「性即理」の理気二元論	「心即理」の良知一元論
先知後行	致良知
形式主義 知識偏重	知行合一 (思想と行動の一致)
主知的な合理精神 分析思考	実践哲学
相対的 分離	絶対的 統合

陽明学の真髓が致良知にあると人はいふ だが私の所見は違います。

王陽明の学問は **誠意** です。致良知は明鏡にくもりをなくし善悪を判断する心境を作り出すことですが そのくもりをなくすためには誠意といふ実践努力 (格物) が必要です。

人は良知の説だけに逃げ込んで、格物 (正しく行動する) といふ実践をおざなりにしてしま傾向が強いのです。春日潜庵に宛てた手紙より) 7p

### 帝王学 (世子の勝静に対して)

陽明学を一言でいうと「**それ、誠の一字か**」

相互依存の関係

誠を尽くさないということは良心に嘘をつくことであり本音と建前といふ区別は、自己分裂が始まっていることである誠を尽くせば分裂が克服でき統合できる

**嘘をつかない** といふ教えが大切

### 理財論

**事の外に立つ、事の内には屈しない** ・ ・ ・ **大局観を持つ** 113p

義を明らかにして 利を計らない (先義後利) = 義と利の区別

理財の内には屈してしまっている

方谷の具体策

義理を明らかにして人心を正す

風俗の浮華を除く

賄賂を禁じ 役人を清廉にする

民生 (人民の生活) に努め人や物を豊かにする

- ・古賢の教えを尊んで文教を振興する
- ・士気を高め武備を振興する

極論すれば「社会問題は、教育問題である」シュタイナー

## **天保9年、私塾『牛籠舎』開設、2人の愛弟子**

三島中洲・三松学舎設立・東大教授・大正天皇侍講  
矢吹久次郎（天領上市庄屋）

## **先見の明・徳川幕府崩壊の予言 180p**

幕府を衣に例えると、家康が材料を整え、秀忠が裁縫し、家光が初服した。以後、代々襲用したので、吉宗あーたび洗濯し、松平定信が再び洗濯した。しかし、以後は汚染と綻びがはなはなだしく新調しなければ用はたえない。」  
安政二年 津山藩土榎原以下四名の酒席の場にて

## **藩政大改革の行動と哲学**

思想がなければ改革は成功しない！ = = = 3つのプラス要因

藩主勝静も方谷もよそ者。利害関係なし。

方谷には藩士たちの中に「信頼できる教え子」がいた。師弟関係。同じ理念を共有していた。思想 価値観の共有（陽明学の浸透）

## **領民第一主義の改革**

1賄賂を戒め、賭博を禁じた。

取締 刑罰 役所以外での面談禁止

2盗賊の取り締まりを厳しくし、奢侈を禁じて風俗を正した。

寄場 感化院 保護指導徹底

3大阪蔵屋敷閉鎖、領内に40カ所の穀倉を設け、水害や干ばつなどに備えた  
民心安定。貧困対策、無利貸し与え、10年後に返納制度。

4道路を修め、水利を通じさせた。

道路幅拡張、川底をさらった。

5城下に「教諭所」、野山に「学問所」を設置し庶民教育を施した。

6目安箱を設置

7「撫育所」を新設し、殖産興業を増進した。

鉄と銅の鉱山開発、冶金、鉄器、農具、製造直売、煙草、柚子、和紙

8「藩札掛」の新設

3年かけて旧藩札回収・・・すべて焼却（20億）という大パフォーマンス

9江戸産物方を新設

10農兵による「聖正隊」を組織し、国境警備に備えた

1200名の西洋銃砲訓練兵組織

## **藩主板倉勝静への意見**

寺社奉行就任の意見

・・賄賂を使つての出世などおやめ頂きたい!

井伊直弼の弾圧政策 (安政の大獄) 批判 ・・ 自社奉行罷免  
老中辞職を建言

・・ 方谷帰国、登城拒否、隠遁生活

## **朝敵となった松山藩**

方谷説 慶喜によって「家茂暗殺」 岩倉によって「孝明天皇毒殺」

備中松山藩、無血開城

方谷に新政府よ! 登用の誘い

## **長瀬塾、小坂部塾**

「朱子学の学習がいちおう完了した者だけに、陽明学を講義する」

閑谷学校の再興 (熊沢蕃山 池田光政)

## **高弟、河井継之助**

「良い人に近づけば、知らず知らずのうちに良い人になる」道元

継之助 「儒学に関して学びたいのではなく先生の事業、作用を学びたい」

経済と文武が兼ねられなければ 真の富国強兵にならない! (鷹山の失敗)

長岡藩藩政改革 ・ ・ ・ 方谷と同じ方法

武装中立 ・ ・ ・ 奥羽越列藩同盟加盟